

「古いアルバム」より～

昭和中期の写真④ 『117工区』

「芝浦工場近くにある橋で第117工区交叉高架橋(首都高速道路公団)は、初めての高速道路橋だったと思います。深夜、プレストレスを挿入するラーメン加工を組み込んだときの作業が未だに記憶に残っています。」(社報50号に掲載された瀧上喜男元副社長の寄稿より)

芝浦ランプ部に位置する124m×2@7.5、2×3@7.5の単純合成桁、3連。
(「鉄骨橋梁年鑑1965」より)



1961年(昭和36年) 架設中



1962年(昭和37年)完成